

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0603 - 11

事務事業名	3R推進啓発事業	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	----------	------	-------	---------

事業特性										
事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	5	3	1	1
単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール			12	13	17	
事業を構成する予算事業	① 3R推進啓発事業経費			②						

政策体系（令和4年度基本計画）									
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち			政策	ごみ減量・清掃事業の推進				
施策	3Rの推進【重点】			政策番号	5-3-1				
関連する個別計画	豊島区環境基本計画/第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画			計画策定年度	H30年度/ R2年度	計画期間	10年/15年		

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	区民								
(2)事業の目的・期待する効果	区民の3R(Reduce(リデュース-廃棄物の発生抑制)・Reuse(リユース-再利用)・Recycle(リサイクル-再生利用)の3つのRの総称。)の意識を高め、ごみの減量、環境保全の意識醸成を図る。								
(3)事業概要	①リサイクル出前講座やイベントを通じた3R推進の啓発 ②リユース食器の貸し出し ③生ごみ処理機購入助成 ④フリーマーケット支援								

(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容 4年度に実施した具体的な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスプラスチック利用促進啓発グッズの作成 13,000セット ・リサイクル出前講座の実施 6回 ・イベント時のブース出展、パネル展、分別ゲームなど 6回 ・生ごみ処理機活用支援 28件 ・リユース食器貸出 0枚 ・フリーマーケットの開催 12回(リサイクルに関するもので区後援名義) 							
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)
	①年間ごみ量(可燃・不燃・粗大ごみ)	↘	トン	54,416	53,673	53,727	99.9%	52,900	
	②区民一人一日当たりのごみ量	↘	グラム	524	505	510	99.0%	497	
	③								
指標の説明	①各種ごみの収集量合計 ②上記「①」÷(10月1日現在人口)÷365日								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症の影響等により、ごみの削減量が一般廃棄物処理基本計画策定時よりも鈍化している。						

(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)
	①リサイクル出前講座の実施	→	回	0	14	6	42.9%	14	
	②リユース食器の貸し出し	→	枚	0	10,500	0	0%	10,500	
	③生ごみ処理機購入助成制度	→	件	25	20	28	140.0%	20	
	指標の説明	①小学校、保育園、区内イベントにおける、3Rを啓発する出前講座を行った実績数 ②区民ひろば、町会等のイベントで食器を利用する際に環境に配慮したリユース食器の貸し出しの実績数 ③生ごみを肥料化する機器を一般家庭で購入した際の助成件数							
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、出前講座実施希望が少なく、また、集会やイベントの中止によりリユース食器の貸出機会がなかった。						

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度			
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R4決算比)		
事業費	A	1,727	1,063	3,302	2,397	73%	14,373	11,976	
人件費	【正規(人数)】	—	(0.90)	—	(0.90)		(0.48)	—	
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—	
	人件費 B	B	—	7,650	—	7,650		4,080	-3,570
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	8,713	—	10,047		18,453	8,406	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0		0	0	
	使用料・手数料	D	0	0	0		0	0	
	地方債・その他		0	59	58	49		58	9
	一般財源	E=C-D	—	8,654	—	9,998		18,395	8,397

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価 **B** 根拠 出前講座等啓発事業を3年ぶりに実施したため。

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。
 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題
 新型コロナウイルス感染症収束後のイベント需要に合わせた事業展開を行う。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)
 バイオマスプラスチック製のごみ袋を各イベント実施時に配布し、区民に対して環境問題に配慮することについて意識啓発を実施した。

【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 パネルやチラシを使い、3R推進の啓発を行ったため。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善にむけての取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)
 新型コロナウイルス感染症収束後のイベント需要に合わせた事業展開を行う。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	リユース食器の貸し出しについては、集会やイベントの開催に左右されるため、予算編成時に需要調査を実施する。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	リユース食器の保管・洗浄・貸出をNPOへの委託により実施している。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	事業者の算出する経費について、履行状況や物価等の状況を考慮し精査している。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既にを行った	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置
対応・改善予定(上記ではない場合は更なる)	無	無	対応、改善の予定がない理由	リユース食器の保管・配送・洗浄を委託により、効率化されているほか、生ごみ処理機購入費助成の申請書類関係をホームページからダウンロード可能にするなどの効率化されているため。
選択肢に関わらず	対応、改善の内容	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由
	予算措置	有		

【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 3Rの推進は重点施策であり、ごみの減量のため、より一層の普及啓発の必要があるため

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

区以外の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。
民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	③	指標番号(成果)		サービス利用者数	50名未満
	「有」「無」ともに記入		推移	↗	推移			

区民ニーズに対する認識 事業内では生ごみ処理機購入費助成制度への需要が継続して増えている。

総合評価(d=a+b+c) **ランク3**

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	引き続きバイオマスプラスチックの利用促進を啓発する必要がある。 生ごみ処理機購入費助成については、予算額を上回る需要が想定される。
②国・都の動き (関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行し、国はプラスチック廃棄物の排出抑制等の基本方針を策定 都では令和元年に「ゼロエミッション東京戦略」が公表され、2050年度には二酸化炭素排出量を実質ゼロにする方針を掲げている。
③令和5年度の方向性・取組方針(事業展開)	令和4年度に引き続きリサイクル出前講座やイベントを通じた3R推進の啓発、生ごみ処理機購入助成、リユース食器の貸し出し、フリーマーケット支援を軸として区民の3Rに関する意識を高め、ごみの減量、環境保全の意識醸成を図る。バイオマスプラスチック利用促進の啓発用として製作したごみ袋を配布する際は、環境への効果を表示したチラシや清掃車のペーパークラフトを同封し、より広い世代で環境を自分事として身近に感じていただけるよう工夫する。
④令和5年度の事業進捗状況(6月末時点)	区立小学校11校で小学4年生を対象にした3R出前講座を実施し、その際にバイオマスプラスチック製のごみ袋を配布し、環境保全の意識啓発も併せて行った。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	「生ごみ処理機購入費助成」については、4月に助成額が予算上限に達したこともあり、助成件数の増を望む声がある。
⑥上記⑤に対する対応	「生ごみ処理機購入費助成」について、ニーズを再確認し、助成件数や助成方法の見直しを行う。

今後の事業費予算要望(e)	増額	根拠	区民のごみの減量、3Rの意識の高まりから、生ごみ処理機購入費助成の需要が多く、拡充要望しているため。
---------------	----	----	--

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	S:拡充
---	------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

ごみの減量には、区民一人ひとりの意識と行動を変えていく必要があり、3Rの推進と啓発は欠かせない。